

目 次

第1編 簿記原理編

第1章

会計の目的

問題 1－1	公会計の目的	2
問題 1－2	企業会計の目的	3

第2章

公会計と企業会計

問題 2－1	損益計算書(1)	4
問題 2－2	損益計算書(2)	5
問題 2－3	貸借対照表	6

第3章

取引・仕訳・勘定・試算表

問題 3－1	仕訳	7
問題 3－2	仕訳及び転記	8
問題 3－3	合計残高試算表	9

第4章

諸取引の記帳方法

問題 4－1	貸付金・借入金	10
問題 4－2	未収金・未払金	10
問題 4－3	立替金・預り金	11
問題 4－4	仮払金・仮受金	12
問題 4－5	建設仮勘定	12
問題 4－6	売買目的有価証券の売買	13

問題 4－7	社債の発行	13
問題 4－8	社債利息の支払い	14
問題 4－9	収益・費用諸勘定	15

第 5 章

決 算

問題 5－1	現金過不足(1)	16
問題 5－2	現金過不足(2)	16
問題 5－3	現金勘定の決算整理仕訳	17
問題 5－4	貸倒れ	17
問題 5－5	貸倒引当金(1)	17
問題 5－6	貸倒引当金(2)	18
問題 5－7	貸倒引当金(3)	18
問題 5－8	退職給付引当金	19
問題 5－9	賞与引当金	19
問題 5－10	有形固定資産	20
問題 5－11	減価償却	20
問題 5－12	有形固定資産の売却	21
問題 5－13	収益の繰延べ	22
問題 5－14	費用の見越し	23
問題 5－15	消耗品(1)	24
問題 5－16	消耗品(2)	24
問題 5－17	まとめ(1)	25
問題 5－18	まとめ(2)	26

第2編 地方公会計編

第1章

地方公会計とは

問題 1－1	貸借対照表……………	30
問題 1－2	行政コスト計算書……………	31
問題 1－3	純資産変動計算書……………	32
問題 1－4	資金収支計算書……………	33

第2章

地方公会計財務書類作成手順の基本

問題 2－1	歳入科目(1)……………	34
問題 2－2	歳入科目(2)……………	36
問題 2－3	歳出科目(1)……………	38
問題 2－4	歳出科目(2)……………	40
問題 2－5	歳入科目(3)……………	42
問題 2－6	歳入科目(4)……………	44
問題 2－7	歳出科目(3)……………	46
問題 2－8	歳出科目(4)……………	48
問題 2－9	整理仕訳(1)……………	50
問題 2－10	整理仕訳(2)……………	52
問題 2－11	未収・未払の仕訳(1)……………	54
問題 2－12	未収・未払の仕訳(2)……………	55
問題 2－13	歳入・歳出に含まれない非資金仕訳(1)……………	56
問題 2－14	歳入・歳出に含まれない非資金仕訳(2)……………	58
問題 2－15	まとめ問題(1)……………	60
問題 2－16	まとめ問題(2)……………	62

第3章

固定資産台帳の実例と整備

問題 3－1	固定資産台帳(1).....	64
問題 3－2	固定資産台帳(2).....	65
問題 3－3	固定資産台帳(3).....	66
問題 3－4	減価償却.....	67
問題 3－5	有形固定資産の評価基準.....	68
問題 3－6	開始時 道路等用地の価額算定.....	69
問題 3－7	開始時 土地の価額算定.....	70

第4章

地方公会計財務書類の様式と関係

問題 4－1	財務書類の作成(1).....	72
問題 4－2	帳簿記入の流れ.....	74
問題 4－3	財務書類の作成(2).....	78
問題 4－4	財務書類の作成(3).....	81
問題 4－5	まとめ問題.....	84

Part. 1

簿記原理編

問題 1－1 公会計の目的

次の文章の空欄に語句を記入しなさい。なお、記入に用いる語句は、指定するものの中から選ぶこと。

公会計（特に地方公共団体の会計）は、（ A ）に対して（ B ）の説明・報告、地方議会における予算・決算審議での利用などに必要な情報を（ C ）によって提供することを主な目的としている。

なお、公会計（地方公共団体の会計）には、様々な会計があり、大別すると（ D ）と（ E ）に分類される。

（ D ）は一般の歳入歳出を経理する会計であり、（ E ）は特定の事業を行う場合、（ D ）と区分して経理する必要がある場合などに行われる会計である。

また、（ D ）と（ E ）の一部をあわせて（ F ）とよばれ、（ E ）の一部と公営企業会計（上下水道事業、病院事業など）をあわせて（ G ）とよばれる。

<語群>

- ・都道府県民 ・地域住民 ・行政活動 ・政治活動 ・財務諸表 ・決算書
- ・普通会計 ・一般会計 ・特別会計 ・特定会計 ・企業会計 ・公営事業会計

〔答案用紙〕

A.	
B.	
C.	
D.	
E.	
F.	
G.	

問題 1－2 **企業会計の目的**

次の文章について、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

1. 企業会計（財務会計）は、企業外部の利害関係者（投資家や債権者など）に対して、収益力や返済能力を判断するためなどに必要な情報を財務諸表によって提供することを主な目的としている。
2. 企業は所有している財産を運用して事業活動を行っているが、企業の維持、発展を図るためには過去の事業活動を反省するとともに、将来のための資料を用意しなければならない。そこで、現在の財産の運用状態を明細に記録し、それに基づいて一定期間の納税実績と一定期日の財政状態を明らかにする必要がある。

〔答案用紙〕

1.		2.	
----	--	----	--

問題 2 - 1 損益計算書(1)

次の1年間の資料に基づいて当期純利益を算定しなさい。

受取手数料	合計 ¥5,000,000
給料	合計 ¥2,000,000
水道光熱費	合計 ¥ 500,000
消耗品費	合計 ¥ 450,000
雑費	合計 ¥ 350,000

〔答案用紙〕

<収 益>		<費 用>		<当期純利益>	
受取手数料 ¥		-	給料 ¥ 水道光熱費 ¥ 消耗品費 ¥ 雑 費 ¥ ¥	= ¥	

問題 2－2 損益計算書(2)

次の一会計期間の資料に基づいて損益計算書を作成しなさい。

受取手数料 ￥150,000 受取利息 ￥ 30,000 給料 ￥ 54,000
水道光熱費 ￥ 14,000 消耗品費 ￥ 29,000 雑費 ￥ 18,000

〔答案用紙〕

損 益 計 算 書

〇〇商店		自X1年 4 月 1 日 至X2年 3 月31日		(単位：円)
費 用 の 部	金 額	収 益 の 部	金 額	

問題 2－3 貸借対照表

次の資料に基づいて貸借対照表を作成しなさい。

現金 ¥450,000 建物 ¥300,000 備品 ¥50,000
 借入金 ¥300,000 資本金 ¥500,000

〔答案用紙〕

貸 借 対 照 表

〇〇商店

×2年 3 月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部	金 額	負債・純資産の部	金 額

問題 3 - 1 **仕訳**

次の取引の仕訳を行いなさい。

4 月 3 日 現金 ¥200,000 を借入れた。

5 日 備品 ¥100,000 を現金で購入した。

9 日 手数料 ¥400,000 を現金で受取った。

15 日 車両運搬具 ¥150,000 を現金で購入した。

25 日 給料 ¥130,000 を現金で支払った。

28 日 水道光熱費 ¥80,000 を現金で支払った。

30 日 4 月 3 日に借入れていたうち、¥80,000 を利息 ¥2,000 とともに現金で支払った。

問題 3-2 仕訳及び転記

次の取引の仕訳を行い、勘定口座へ転記しなさい。

4月4日 現金¥300,000を借入れた。

6日 土地¥150,000を現金で購入した。

12日 現金¥50,000を貸付けた。

15日 手数料¥350,000を現金で受取った。

25日 給料¥185,000を現金で支払った。

28日 水道光熱費¥70,000を現金で支払った。

30日 4月12日に貸付けていたうち、¥40,000を利息¥1,500とともに現金で受取った。

現金	
貸付金	
土地	
借入金	

受取利息	
受取手数料	
給料	
水道光熱費	

問題 3－3 合計残高試算表

下記の勘定口座に基づいて合計残高試算表を作成しなさい。

現 金		借 入 金		受 取 利 息	
300,000	150,000		300,000		1,500
350,000	50,000			受 取 手 数 料	
41,500	185,000				350,000
	70,000			給 料	
貸 付 金				185,000	
50,000	40,000			水 道 光 熱 費	
土 地				70,000	
150,000					

〔答案用紙〕

合計残高試算表

×2年 4 月30日

(単位：円)

借 残 高	方 合 計	勘 定 科 目	貸 方	
			合 計	残 高
		現 金		
		貸 付 金		
		土 地		
		借 入 金		
		受 取 利 息		
		受 取 手 数 料		
		給 料		
		水 道 光 熱 費		